

|                    |  |
|--------------------|--|
| 科目名称               | 応用整復学  |
| 授業コード              | BH417  |
| 英語名称               | Applied reposition by Judo 6   |
| 学期                 | 2024年度前期   |
| 単位                 | 1.0  |
| 担当教員               | 浅木 健治, 藤原 基, 金島 裕樹   |
| 記入不要<br>ナンバリングコード  |  |
| 授業の概要              | ・応用整復学 に引き続き<br>柔道整復師として必要な柔道整復学に関する知識と実践への応用について学ぶ  |
| 科目に関連する実務経験と授業への活用 | ・接骨院業務や救護活動に従事し臨床経験のある教員が<br>それぞれの専門分野を分担して講義, 実演する  |
| 到達目標               | ・ディプロマ・ポリシーの<br>【柔道整復師に必要な医学的知識・技術および基本的技能を有している】を達成するため<br>柔道整復師国家試験の該当科目において合格可能なレベルに達することを目標とする   |
| 計画・内容              | <p>1) 柔道整復学(上肢) 担当教員:浅木【柔道整復師】</p> <p>2) 柔道整復学(上肢) 担当教員:浅木</p> <p>3) 柔道整復学(上肢) 担当教員:浅木</p> <p>4) 実力試験 担当教員:浅木</p> <p>5) 柔道整復学(総論/頭部・体幹) 担当教員:金島【柔道整復師】</p> <p>6) 校内模試 担当教員:金島</p> <p>7) 柔道整復学(総論/頭部・体幹) 担当教員:金島</p> <p>8) 柔道整復学(総論/頭部・体幹) 担当教員:金島</p> <p>9) 柔道整復学(総論/頭部・体幹) 担当教員:金島</p> <p>10) 柔道整復学(骨盤~下肢) 担当教員:藤原【柔道整復師】</p> <p>11) 校内模試 担当教員:藤原</p> <p>12) 柔道整復学(骨盤~下肢) 担当教員:藤原</p> <p>13) 柔道整復学(骨盤~下肢) 担当教員:藤原</p> <p>14) 柔道整復学(骨盤~下肢) 担当教員:藤原</p> <p>15) 総括 担当教員:浅木</p> |

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 授業の進め方                             | ・柔道整復学の講義，問題演習とその解説を行う   |
| 能動的な学びの実施                          | ・該当なし  |
| 授業時間外の学修                           | ・柔道整復学の内容についての予習と各講義の内容についての復習（各回1時間～2時間程度）  |
| 教科書・参考書                            | <p>書籍名：柔道整復学・理論編 改訂第6版<br/>         ・著者／編者名：公益社団法人 全国柔道整復学校協会<br/>         ・出版社：株式会社 南江堂<br/>         ・出版年：2018年 3月</p> <p>書籍名：柔道整復学・実技編 改訂第2版<br/>         ・著者／編者名：公益社団法人 全国柔道整復学校協会<br/>         ・出版社：株式会社 南江堂<br/>         ・出版年：2012年 12月</p> |
| 成績評価方法と基準                          | ・定期試験（100％）  |
| 課題等に対するフィードバック                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料等を配布し理解を深めさせる</li> <li>・授業内に行なった小テストの解説により重要なポイントのチェックを行う</li> </ul>   |
| オフィスアワー                            | ・CampusSquareを参照のこと  |
| 留意事項                               | ・出欠カードリーダーの不正利用が判明した場合は懲戒（退学，停学及び戒告）の対象となることがある  |
| 非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」 | <p>Zoomによるオンライン授業<br/>         ・授業動画配信によるオンデマンド授業<br/>         ・課題学修<br/>         のいずれかを実施または複数を組み合わせて実施する</p> <p>定期試験（100％）</p> <p>対面試験が実施できない場合はそれに代わる非対面試験で評価する</p>   |